

令和5年度 夏季研修会

研修テーマ 「企画力・調整力・提案力を身につけ、
学校運営に貢献しよう」

令和5年8月1日（火）山形国際交流プラザにて、令和5年度山形県公立小中学校事務職員研究協議会夏季研修会が開催されました。

5年ぶりの「完全参集型」となった今回は、盛岡大学教授 福島正行氏による「企画力・調整力・提案力と事務の組織化」と題した講演が行われました。

3名の方に感想を寄せていただきましたので、ご紹介します。

天童市立天童南部小学校 事務総括 高橋 宏信

昨年度のハイブリッド形式の研修を経て、5年ぶりに参加する研修会は完全参集型とのことで、じかに会員の熱気を感じられる研修でした。

講演を受けるに当たって、テーマである「企画力・調整力・提案力」は私自身、不得意な分野と感じていました。講演の中で特に印象に残った言葉は、他の職員から上がってくる企画に対しても、どのように教育課程に照らし合わせ実践していくか考えることも企画・調整力なのだということなのです。私自身、事務職員の視点から提案された企画に対してアドバイスすることも企画・調整力なのだと言えられました。



本地区は今年度から本格的に共同実施を始めました。共同実施を行うなかで自発・他発な企画を標準的な職務通知を基に、どのように学校経営に参画できるかを話合ってみることも必要なのではないかと思います。

このような貴重な研修の場を設けていただきまして、ありがとうございました。

長井市立長井小学校 主事 鈴木 美久

今回の研修会では、企画の重要性や学校マネジメントへの参画などについてお聞きし、大変勉強になりました。この講演をお聞きする前は、「企画」という言葉を重く捉えてしまい私には難しいことだと諦めていました。ですが、講演を通して次のことを意識することで、「企画」をより身近に捉えることができると考えました。

一つ目は、学校教育目標を明確に理解することです。学校が目指す子ども像を分かっているなければ、新たなことを始められません。自校の学校教育目標を意識して勤務していきます。

二つ目は、相対的な意見を提案することです。学校をより活性化させるには、職員がより主体的に動けるにはどうすれば良いか常に考え、発言していきます。

最後に、視野を広く持つことです。学校事務職員の視点から、先生方が見えない部分に気づけるようにしていきます。「企画」を身近なものと感じ、学校のために何ができるか考え行動しようと感じた研修会でした。



鶴岡市立羽黒小学校 事務主査 庄司 ユリ

久々に完全参集型開催となった夏季研修会。まず目に飛び込んできたのは鮮やかなオレンジのポロシャツ。7年前の全国大会が鮮やかに蘇ると同時にコロナ禍明けも県内の学校事務職員の思いは繋がっていることを実感しました。「つかさどる学校事務職員とは、組織の一員として自分の力で考え、提案する事務職員である。」と井上会長の基調報告にあったので、鶴岡市の管理規則をひもとき職務規定の「事務をつかさどる」を再確認。チーム学校の一員として、学校教育目標の実現に向け、提案する事務職員とは？ ということに福島先生の講演をお聞きしたことで気づきがありました。



まず一つ目に組織の活性化という点で、教員とは異なる視点で、意識して日常のだれかの企画にかかわっていくことです。

二つ目に総務財務に通じる専門職として、教育資源を獲得し生かすリソースマネージャーとして事務職員の強みを生かすことです。

三つ目に勤務校での自分の役割を振り返り、どのようなマネジメントでかかわるかを考えることです。

新たな気づきと明日からのやる気をもらったこの夏の研修会でした。

新規採用事務職員紹介

Part 1

今年度の新規採用事務職員（11名）を、今号70号と次号71号の2回で紹介します。
今回は、5名の方々に自己紹介をしていただきました。

- ① 名前 ② 所属校 ③ 出身地 ④ 趣味・特技 ⑤ 好きな食べ物 ⑥ 好きな言葉
⑦ 7か月間過ごして思ったこと a.嬉しかったこと b.困ったこと c.びっくりしたこと

- ① 伊藤 拓夢（いとう たくむ）
② 天童市立天童中部小学校
③ 東根市
④ 散歩
⑤ 牛タン
⑥ 感謝
⑦ a.自分が行った業務で先生方に感謝の言葉をいただいたこと。
b.事務職員の会議で話している内容についていけないこと。
c.電話が毎日何十件もかかってくること。

- ① 伊藤 梨々花（いとう りりか）
② 村山市立袖崎小学校
③ 尾花沢市
④ 映画鑑賞
⑤ ラーメン・プリン
⑥ ちりも積もれば山となる
⑦ a.児童に“りりか先生”と呼ばれたこと。
b.学校の備品がどこになにがあるかなどを把握し、管理すること。
c.学校の裏山にアルペンスキー場があること。



令和5年度新規採用事務職員の皆さん（Part 1）



- ① 舟山 蒼（ふなやま あおい）
- ② 山形市立南沼原小学校
- ③ 山形市
- ④ 音楽を聴くこと
- ⑤ 抹茶のスイーツ
- ⑥ 一期一会
- ⑦ a.先生方や周りの事務職員の方が優しく接して下さること。
b.先生方に質問されたことをすぐに答えられなかったこと。
c.事務職員の仕事の幅が広いこと。



- ① 武田 祐一（たけだ ゆういち）
- ② 山形市立第十中学校
- ③ 山形市
- ④ 趣味：ドライブ 特技：弓道
- ⑤ お寿司
- ⑥ 一期一会
- ⑦ a.研修を通して他校の事務職員の方と交流ができ、業務などで困っていたことを相談できたこと。
b.今まで聞いたことや見たことがない業務ばかりあり、何をすればよいか分からなかったこと。
c.自分が思っていた以上にたくさんの業務があること。



- ① 佐藤 侗哉（さとう れいや）
- ② 寒河江市立高松小学校
- ③ 天童市
- ④ キャンプ・カフェ巡り
- ⑤ 珈琲・洋菓子
- ⑥ 臥薪嘗胆
- ⑦ a.また給食を食べることができたこと。
b.経験が浅いため、先生方の質問や相談にすぐ受け答えできなかったこと。
c.学校事務職員の業務の幅の広さ。とてもやりがいを感じます。



秋の夜長におすすめ！

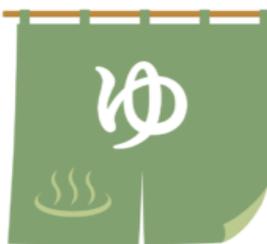
日帰り温泉紹介

素敵なひびき

山形地区 あんこ さん

あちい！ と叫んだ日々も落ち着き、温泉が恋しい季節になりました。山形市にある多くの温泉の中から、温泉大好き20代女子が東西2か所をレポートしてくれました。

「西の“百目鬼（どめき）温泉”は露天風呂がとても開放的（辺り一面畑）。『入浴は3分以内にしてください』と書かれているほど効能が強く、入浴後や次の日は肌がツルツルな気がします」…なんと！ 妖怪の集う所のようなネーミングなのにツルツル肌になるなんて、20代女子だけなのか年齢を問わずなのか、検証に行かねば！



「東は“天神乃湯”。男湯と女湯が日によって入れ替わるので、行くときによっては、違うお風呂を楽しめます。温泉全体の雰囲気がとてもいいところもお気に入りです。夜遅く22:30までやっているの、仕事帰りに夜景を見ながらドライブがてら行っています！」…私にとって22:30は寝る時間。元気に活動できるのは若さ？ 温泉の効能？

さて、ツルツルかぴちぴちか、どちらを優先しましょうか。

庄内平野の大パノラマを！

田川地区 つや 姫子 さん

私のおすすめの日帰り温泉は、酒田市旧平田町にある「アイアイひらた」です。旧松山町方面から遊佐町へ345号線を走り、東部中学校を過ぎると間もなく右折し、山道を進むと見えてきます。右折するところが少しわかりにくいですが、鳥居が目安になるかと思います。

何と言っても、おすすめのポイントは、その眺望のすばらしさです。春、田んぼに水が入りキラキラした様子。夏、青々とした水田を風が吹く様子。秋、黄金色に輝く水田を照らす夕日。とにかく、どの季節に行っても、お風呂をゆっくりと楽しみながら、庄内平野の広がり絶景を堪能することができます。

肝心の温泉は、琥珀色のお湯で、入浴後は肌がスベスベした感じになります。景色がよく見える露天風呂もオススメです。

ぜひ、庄内に足を運んでいただき、リラックスしながら大パノラマを実感していただきたいと思います。



ねっとわ〜く



from 遊佐町



遊佐町のイメージキャラクター「米〜ちゃん（べえ〜ちゃん）」をご存じですか？

第2期少年議会（平成16年度）において、「遊佐町をもっとPRしてほしい」という要望を実現するために募集し決定され、その後、第7期少年議会（平成21年）にて、妹のライちゃんなど「米〜ちゃんファミリー」が誕生。

「ん？ 少年議会ってなに？」と思われた方もいるかもしれませんが、遊佐町では若者の力によるまちづくりを目指し、遊佐町在住もしくは町内の学校に通う中高生約600人の中から「少年町長」と「少年議員」を直接選挙で選び少年議会を開催しています。選挙では有権者である町の中高生が、本物の選挙の投票箱を使って投票します。

少年町長と少年議員は、遊佐町の若者代表として「中学生・高校生の政策」を議論し、町はその政策を尊重し、少年町長と少年議員は、自分達の決めた政策を実現します。活動のための予算もちゃんとついているのです。

米〜ちゃんプロフィール 性別：男 生年月日：1988年8月8日 遊佐町の主要作物であるお米をモチーフにデザイン。手にも稲を持っている。頭の帽子部分は「出羽富士」鳥海山、ズボンは遊佐町の大自然を感じさせるグリーン、影となる足元は日本海と豊富な湧水をイメージし豊饒な土地と町民の元気を表す。



遊佐小学校

令和5年4月、遊佐町の小学校5校（蕨岡小・遊佐小・藤崎小・高瀬小・吹浦小）が閉校し、新・遊佐小学校としてひとつになり開校しました。遊佐町は小中ともに1校ずつになり、さらに連携を深めていきます。



遊佐中学校

「めがみちゃん」



from 舟形町

舟形町は、山形県の北東部で最上郡の南端に位置する町です。町の中央を小国川が流れ、田畑を潤しながら最上川へと合流します。自然豊かな舟形町の紹介をします。

貴重な発見！縄文の女神

平成4年8月に町内「西ノ前遺跡」から高さ45センチの日本最大の土偶が出土しました。その美しい容姿から「縄文の女神」と呼ばれており、平成10年に国の重要文化財、平成24年国宝に指定されました。

これは絶品！鮎（アユ）

町の中を流れる小国川は、生活排水が入らず鮎を代表とする川魚の宝庫です。最高の環境で育った鮎は、泥臭さがなく、形・香り・味の三拍子がそろった絶品です！

大きさに驚く！マッシュルーム

恵まれた環境で育った舟形マッシュルームの品質と味は関係者から高い評価を受け、東京の百貨店やホテルでも使用されています。通常の高さの約10倍のジャンボマッシュルームは見た目にも驚き、味にも驚きます！



今回紹介したものの他に、「薫風窯（くんぷうがま）」という陶芸が体験できることや、小国川を見下ろす小高い丘にある「若鮎（わかあゆ）温泉」など魅力的なものがたくさんあります！